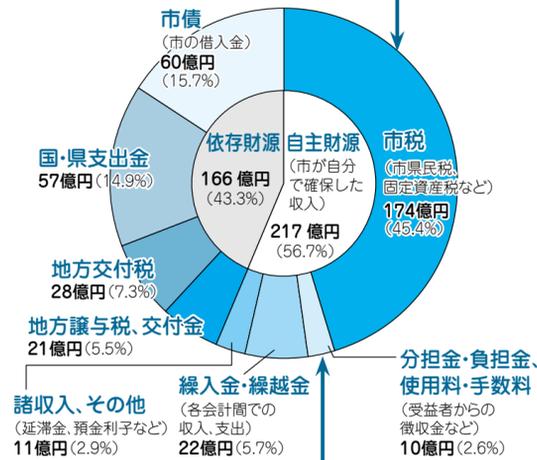


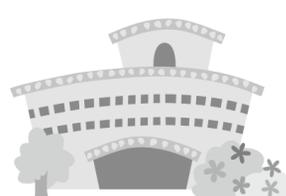
# 都市間競争を生き抜くために！ 平成21年度 決算を審査

## 平成21年度

### 歳入 (383億円)



### 市税 (市県民税・固定資産税など)



❶ 不納欠損額 (徴収が不可能となった税額) の過去3か年の合計は、2億円を超えています。また、平成21年度の収入未済額は、前年度に比べて14%増えています。これらを減らすための方策を早急に講じてください。併せて、多重債務者の過払い金を税の回収に充てるなど、消費生活相談センターなどと庁内連携のうえ、生活相談を交えた債権回収を行ってはどうですか？

❷ 法人の倒産などにより市税の収入未済額が増えており、昨年度から納付相談も増えています。今年の4月から元国税徴収職員を債権回収担当に採用し、さらに県の債権回収チームと週1回のケース検討も行っています。今後も、消費生活相談センターと連携しながら、多重債務者の過払い金の充当も視野に入れて市税徴収を行っていきます。

## 一般会計歳入

### 使用料・手数料 (受益者からの徴収金など)



❶ 職員駐車場の職員の使用料金に関して、市の出先職場である学校も同じように徴収すべきと考えます。本庁職員との負担を公平に保つことや、市民目線から見ても、早急に取り組むべきです。

❷ 出先職場である学校には公用車がないため、業務内容について一定の配慮が必要であり、今後とも出先機関の職員駐車場の使用料金徴収について検討していきます。

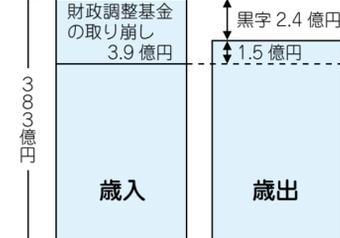
### 平成21年度の三田市の収支状況は？

歳入 383 億円から歳出 379 億円を差し引いた額は約 4.1 億円で、そのうち翌年度に繰り越す (平成21年度から平成22年度の) 事業に使う約 1.7 億円を除いた実質収支額 (黒字) は、約 2.4 億円です。

ただし、・・・



平成21年度の財政調整基金の取り崩しは、3.9億円です。もし取り崩しがなければ、実質1.5億円の赤字です。



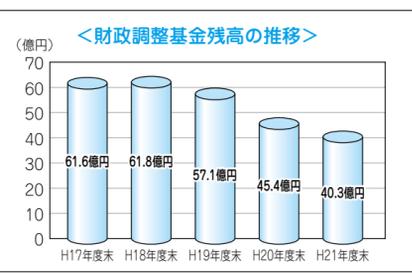
### 用語解説

**決算の審査**  
市の決算は、市長から市議会の審査にゆだねられます。三田市議会では、議長・監査委員を除く議員全員で決算特別委員会を組織し詳細に審査します。

最終的にその決算を認める (認定) が、認めないか (不認定) を議会の議決で決定しますが、仮に結果が不認定であったとしても、市長が行った契約や支出の効力には変わりありません。

#### ※財政調整基金

長期的な視野に立って計画的な財政運営を行うことを目的として積み立てられる基金 (貯金) です。この基金の取り崩しは、財源が不足する場合など特別の場合に限られます。三田市の財政調整基金は約40億円 (22年5月末) あります。平成23年度は、財政調整基金の取り崩しをせずに、単年度黒字になることを目指しています。



## 決算特別委員会

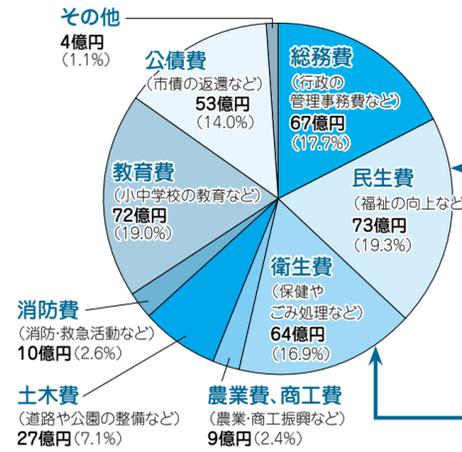


決算特別委員会のようす

決算特別委員会では、予算が適正に使われたかどうかを事業の成果や将来の展望もふまえて審査します。  
平成21年度決算については、9月27日～29日に企画総務・生活文教・都市環境の各分科会で個別審査を、30日に全体会として総括質疑を行いました。

## 一般会計決算

### 歳出 (379億円)



### 民生費 (福祉の向上など)



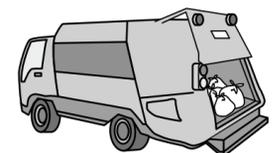
❶ 現在、三田市では小学校3年生までの通院費と中学校3年生までの入院費を無料としています。また、来年度からは通院費の助成対象を小学校6年生まで拡大する予定と聞いています。医療費の負担が軽くなるこの制度は評価していますが、所得制限により、約17%の市民の方がこの医療助成を受けることができません。市民の子育て支援のため、所得制度をなくしてはどうですか？

❷ 県の制度改正により医療費助成の所得制限が引き下げられますが、三田市では混乱を招かないよう所得制限を撤廃したいと考えています。子育てしている方は誰もが医療費助成を受けられる県内トップレベルの子育て支援施策として取り組んでいきます。

## 一般会計歳出

### 衛生費 (保健やごみ処理など)

❶ 市直営のごみ収集では、8台のごみ収集車にそれぞれ3人が乗車して収集しています。ニュータウン等の地域ではごみ収集を民間委託していますが、委託事業者はごみ収集を2人乗車でを行っています。市直営のごみ収集地域の内、農村部はごみ収集量が少ないことから、委託事業者と同じく2人乗車でごみ収集することや、市のごみ収集車を減車するなどコスト削減を考えてはどうですか？



❷ 市直営のごみ収集についてルートなどの検証を行い、2人乗車による収集を平成23年4月から一部試行します。また今後、ごみ収集車の減車についても検討していきます。

❶ 本市では、20歳以上の女性を対象に子宮頸がん検診を実施していますが、20代の受診率は他の年代に比べて低い結果でした。一方、子宮頸がんは20～30代の女性の発症率が高く、特に20代の発症が増えていきます。そこで、20歳を迎える女性への取組みとして、成人式で子宮頸がん検診をお知らせしてはどうですか？



❷ 来年1月に行う成人式において、当日配布されるプログラムにバーコードを印刷し、そこから三田市公式携帯サイトにアクセスできるようにします。簡単かつ費用をかせずに啓発ができるように、これからも取り組んでいきます。

### 21年度決算、議論の結果は？

**反対** 平成21年度から障害者福祉金に所得制限がかけられたり、福祉バスは借り上げのための使用料を市民に負担させるなど市民サービスが低下しています。また、国保税の値上げで滞りが増えてしまい、その方々への徴収強化を行うという悪循環を生んでいます。これらのことから、決算の認定に反対します。

**賛成** 行財政改革では、11億7,140万円と目標を上回る効果額が達成できています。また、平成20年度に実施した高金利の債務を低金利のものに借り換えることにより、平成21年度で1億2,490万円の利差益を得ています。一方、小児科・内科を中心とした休日応急診療センターの開設、消防東分署整備に着手されるなど市民生活充実のために、限られた財源を適切に投入する市政運営がされたことを評価します。これらのことから、決算の認定に賛成します。

平成21年度決算11件は、決算特別委員会で審査したあと、10月臨時会で議論しました。議員から決算に対する反対意見、賛成意見が表明されたあと、表決しました。その結果、一般会計決算など2件については賛成多数で、そのほかの9件については全員一致で認定しました。